

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成19年7月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.55



災害復旧に総力戦!!

台風五号による大雨で、西臼杵地域、特に日之影町は甚大な被害を受けました。被害を受けられました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

西臼杵支庁では、町、関係機関と連携し、一日も早い復旧に向けて取り組んでいます。

被災直後から被害状況の把握に努め、八月三日には緒嶋県議会議員と高島西臼杵支庁長が日之影町見立戸の口の道路決壊現場等を視察し、被害状況の把握を行いました。

八月九日には、東国原知事が日之影町見立上川集落の視察を行い、被害状況の把握をするともに、地域住民を励ましました。

日之影町見立地区の災害現場視察において、津隈日之影町長から説明を受ける東国原知事（8月9日）



日之影町鹿川地区も大きな被害を受けています（8月7日）



孤立した集落に救援物資を運搬する日之影町職員（8月3日、日之影町見立戸の口の道路決壊現場）



被災直後、被害状況把握のため現地視察を行う緒嶋県議会議員と高島西臼杵支庁長（8月3日）

県営中山間地域総合整備事業 天岩戸地区 黒原(くろばる)営農飲雑用水施設 竣工式

営農飲雑用水施設は、生活・家畜用水や野菜の洗浄用水などの活用を目的に、平成18年5月に水道法の認可を受け、本年6月に給水が開始され、7月18日に竣工式が行われました。

当日は、黒原配水地において、緒嶋県議会議員、内倉高千穂町長、坂本黒原水道組合長ご参列のもと、安定的な営農飲雑用水の供給による生活環境の向上や安定的な農業経営を祈念して、神事が執り行われました。

事業概要		概要			
配水タンク[黒原]	68ton(5.5X2.5X2.5X2槽)	1基	受益戸数	36戸	
[馬生木]	12ton(2.0X1.5X2.2X2槽)	1基	計画給水人口	120人	
滅菌室		1基	導水管	40	786.8m
緩速ろ過池	5.4X3.4X2.5X2槽	1基	配水管	40 ~ 75	3088.2m
			消火栓	50、75	5基



黒原浄配水地で行われた神事



当事業にて整備した消火栓の放水状況

「みやざき地産地消こだわり料理の店」認定証交付式

みやざきの食と農を考える県民会議（会長：東国原英夫知事）が認定する「みやざき地産地消こだわり料理の店」への登録申請をしていた西臼杵郡内の17店舗に、認定証が7月13日交付されました。

これは、「地産地消」を推進するために、県内で生産された農林水産物を食材として活用する飲食店等を「みやざき地産地消こだわり料理の店」として登録する制度で、本年度から始まりました。これにより、民間事業所における地産地消の取組が促進されるとともに、県民の「地産地消」に対する理解促進や意識啓発が図られることが、期待されています。



西臼杵支庁大会議室で行われた交付式で、佐伯誠治同会議西臼杵支部長（農政水産課長）は「食に対する消費者の安全・安心志向が高まっている。これまで以上に地産地消を進めて下さい」とあいさつしました。



本県産の食材を使ったメニューが5割以上を占めるなどの基準を満たした店舗が認定され、登録店は今後、知事をデザインした卓上旗・のぼり（有償）等を店内に設置することができ、地産地消の取組をPRしていきます。

今回は初めての認定でしたが、登録申請は随時受け付けていますので、詳しくは支庁農政水産課まで御相談ください。（電話0982-72-2108）

治山・林道工事コンクール 宮崎県知事賞

6月6日

治山・林道工事コンクール（宮崎県治山林道協会主催）は、治山林道工事の施工管理技術の向上、木材使用の促進並びに林道愛護思想の高揚を図ることを目的に毎年実施しており、治山・林道工事部門、治山・林道木材使用部門及び林道維持管理部門があります。

このたび、林道工事部門において、平成17年度森林基幹道解説事業（黒原・煤市線2工区）(株)竹尾組 江藤政義さんが宮崎県知事賞を受賞しました。



6月6日に行われた表彰式で表彰される(株)竹尾組 江藤政義さん



森林基幹道 黒原・煤市線2工区

五ヶ所小学校「ふれあい感謝祭」

7月18日

高千穂町の五ヶ所地区では、食と農への興味や関心を高め、ふるさとを理解し、感謝する心を育てることを目的に、小学校、老人クラブ、中山間地域等直接支払制度の「五ヶ所集落協定」が連携して、平成17年度から野菜栽培を行う「ふれあい農園」、収穫した野菜を調理していただく「ふれあい感謝祭」を実施しています。



子どもたちによる野菜の歌の披露やビデオを利用して料理の説明が行われました。



五ヶ所ゆかりのもの（ヒメユリ、三秀台）にちなんで考えた給食（ひめゆりサラダ、三秀団子）を老人クラブの皆さんと子どもたちでいただきました。

高千穂町災害対応訓練実施

7月2日

高千穂町は7月2日、大規模な台風災害を想定した災害対応訓練を実施しました。昨年12月に策定した町地域防災計画の検証と防災活動の在り方を確認することを目的に町役場、消防団、警察が参加し、情報収集や伝達について、関係機関との連携を確認しました。

土砂災害警戒情報などを基に災害情報連絡本部、災害警戒本部、災害対策本部を設置しました。災害対策本部設置時は、町の全課長を招集し、災害対策本部会議が開催され、各課長から被害状況の説明やその対応などの報告が行われました。

内倉町長は「高千穂町は急しゅんな地形が多く、災害はいつ起こるか分からない。臨機応変に対応して欲しい。」と訓示しました。



災害対策本部会議の様子

五ヶ村遺跡発掘&天岩戸神さま探し

6月30日～7月1日

高千穂町と五ヶ瀬町のNPO法人、天岩戸自然学校と五ヶ瀬自然学校は、高千穂町岩戸の遺跡めぐりなどを楽し

む「五ヶ村遺跡目発掘&天岩戸神さま探し」を6月30日、7月1日の2日間開催しました。

1日目は、岩戸の神楽の館で町学芸員から講義を受けた後、五ヶ村遺跡に移動して、集石遺構を見学しました。

2日目は、天岩戸神社で天岩戸の名前の由来や、神話にまつわる説明を聞きました。



真剣に話しを聞く子どもたち



五ヶ村遺跡の集石遺構を見学する子どもたち

高千穂峡をライトアップ

高千穂町の高千穂峡ではライトアップされた滝がライトに浮かび上がり、幻想的で涼しげな光景が広がっています。

ライトアップされているのは、日本の滝100選に選ばれている「真名井の滝」と「玉垂の滝」で、午後10時までライトアップされています。

高千穂峡のライトアップは、9月9日まで行なわれます。



ライトアップされた「真名井の滝」

山附溪谷ホタル復活祭

6月30日

高千穂町押方山附地区の椿渡橋ホタル公園で、6月30日、山附溪谷蛍復活祭が開催され、一昨年の台風災害でほとんど見られなくなったホタルの復活を願いました。

河川の災害復旧工事も今年中には完成する見込みで、再びホタルが住み着きやすいよう自然石が使われています。

今年はわずかですがホタルを見ることができたそうです。



二上神楽の奉納などが行われたホタル復活祭

編集後記

台風5号の雨は年配の方が今までに経験したことがないようなものであったと聞きました。この台風は甚大な被害をもたらし、住民の生活に多大なる影響を及ぼしました。このような中、西臼杵支庁や町では関係機関と連携し、災害復旧に取り組んでいます。災害復旧に総力戦で頑張っておられる方々には頭が下がります。これから台風の季節になりますが、これ以上、台風は近づいて欲しくないし、大雨も降って欲しくないものです。 博

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

第1回 がまだせ日之影町農林業振興大会

7月2日

日之影町民センターにおいて、町内の農林業関係者が意思統一を図り、更なる農林業の振興と活力ある若者定住の土壌づくりを推進することを目的に「第1回 がまだせ日之影町農林業振興大会」が開催されました。

大会では、8名の生産者がそれぞれの営農状況の取組みや今後の目標について意見発表を行い、参加した町内各地区の農林業従事者や町職員は、熱心に聞き入っていました。

大会名の「がまだせ」とは、「元気を出そう」という意味で、今回の大会は、参加者に更なる農林業の振興に取り組む元気を与えてくれました。



大会で発表する農林業従事者

高千穂郷では国際交流が盛んです

中国広東省東莞（とうがん）市の東莞中学校（周潤標校長、生徒数約3,400人）の2年生80人が7月18日に修学旅行で高千穂町を訪れ、地元高千穂中学校（高野久美校長、生徒数294人）の生徒たちと交流を深めました。

体育館で行われた学校交流では、レクレーションゲームを楽しんだり、記念撮影するなどして交流を深めました。最後に両校の生徒代表がヤマボウシの苗を記念植樹しました。

一行は、17日に高千穂に入り、高千穂神社境内の神楽殿で神楽を楽しみ、18日は高千穂中学校訪問の後は高千穂峡を観光し、佐賀県へ向かいました。



それぞれ準備したプレゼントを交換しあう東莞中学校生徒と高千穂中学校生徒